

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	1年		
教科等名	音楽		グループ名	学年		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。 ・音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音楽のリズムや強弱、楽器の響きの違いを味わいながら聴くことができるようにする。 ・協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。 					
担当教員	○大出 彩乃 桑原 真明 桐山 知行 松永 和也 佐野 聖太 鷲尾 圭介 金子 蓮菜 立山 洋子 小林 多恵子 高島 恵里					
年間授業時数	70					
使用教科書	東京書籍「音楽☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	音楽の決まり	通年	○	<ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符の決まり ・記号と拍子(ト音記号、繰り返し記号、4拍子) ・音の強弱 	<ul style="list-style-type: none"> ・ト音記号や拍子の読み方や数え方が分かる。 ・音階や和音を聴いて、響きの違いを感じ取り、表現することができる。 ・強弱による楽曲の変化を味わい、感じたことを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色の変化が大きい曲を使用する。 ・感想発表しやすいように、キーワードとなる言葉を提示する。
4 5 6	音楽に合わせて体を動かそう リズムや旋律に合わせて歌おう	20	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現:「ボディパーカッション」 ・歌唱:「校歌」「こいのぼり(共通教材)」「ふるさと(共通教材)」 ・鑑賞:「季節の歌」「みんなの好きな曲」 	<ul style="list-style-type: none"> ・手本を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現することができる。 ・歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付き、曲想に合った表現を考える。 ・楽曲を聴いて体を動かしたり感想を発表したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・拍の数に合わせて体を動かすことを、数字などで具体的に示す。 ・授業の始めに映像や写真を見る。 ・感想を持ちやすいよう、例を挙げて話をする。
7 9	拍にのって演奏しよう 日本の響きを感じよう	15	○	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽:「輝け囃子(日本の音楽)」 ・身体表現:「我は海の子(共通教材)」 ・鑑賞:「郷土の音楽を知ろう」「世界の音楽と楽器を知ろう」 ・歌唱:「移動教室の歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の名前を覚え、クイズに答えることができる。 ・友達の音と自分の音が重なった時の響きの違いを感じ取り、自分の思いや意図を表現することができる。 ・和楽器や世界の打楽器について、知識を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだして鑑賞し、感じたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器や打楽器の映像資料を見る。 ・カメラアプリで録画して、響きの違いを聴き比べる。 ・音色の異なる楽器の楽曲を鑑賞し、響きの違いを比べる。
10 11	いろいろな表現を知ろう(学習発表会練習)	15		<ul style="list-style-type: none"> ・器楽:劇の音楽 ・身体表現:劇の身体表現 ・歌唱:「学習発表会の歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏できる。 ・発声の仕方に気を付けて歌ったり、すすんで音楽に関わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に合った楽器を設定する。 ・姿勢や口の形を、視覚教材で示す。
12	世界の音楽を聴こう	5		<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞:ミュージカル(世界の音楽) ・身体表現:「ダンス」 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画音楽を聴き比べて、曲や演奏の良さを見いだして聴くことができる。 ・リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取って、体を動かすことができる。 ・音楽や友達の表現に合わせて、音楽活動することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルの良さを味わえる楽曲を鑑賞する。 ・動きを分けて示す。
1 2	旋律楽器を演奏しよう	10	○	<ul style="list-style-type: none"> ・創作:「お話の音楽をつくらう」「言葉のアンサンブル」 ・器楽:「アメージング・グレース(旋律楽器)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、思いや意図をもって演奏することができる。 ・音遊びを通して、いろいろな音の響きや特徴に気付き、音楽をつくるかについて発想を得て、創作することができる。 ・簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラアプリで録画し、演奏を振り返ることができるようにする。 ・楽器の響きや音色を聴き比べながら、ストーリーに合う音を選べるようにする。 ・色楽譜を使用する。
3	1年間を振り返ろう	5	○	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱:「国歌(儀式)」「校歌(儀式)」「花は咲く」 ・鑑賞:オペラ(世界の音楽) 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味が分かる。 ・曲想と歌詞の表す情景について、思いをもって表現することができる。 ・自分の歌声と友達の歌声が重なった時の響きを楽しむ。 ・曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味をイラストなどを用いて示す。 ・発声の仕方や抑揚の付け方を実演して、確認する。 ・カメラアプリで録画し、響きの違いを比べる。 ・場面が分かるように解説しながら鑑賞する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。